

## 岐阜大学全学技術センターの紹介

酒向隆司

岐阜大学高等研究院全学技術センター フィールド科学技術支援室

### 概要

2020年4月の東海国立大学機構の発足に伴って、先行して組織化されていた名古屋大学に倣う形で岐阜大学全学技術センターが発足した。本発表では、多様な職種の技術職員が従事している業務を紹介するとともに、組織が抱えている課題についても報告する。

### 1 全学技術センターの概要

2020年4月に岐阜大学と名古屋大学という二つの国立大学法人による県をまたいだ法人統合により、わが国初の一法人複数大学制度による国立大学法人として東海国立大学機構が設立された。それと同時にすでに組織化がなされていた名古屋大学に倣う形で岐阜大学全学技術センターが発足した。組織的には、岐阜大学全学技術センターと名古屋大学全学技術センターの上に統括技術センターが設置されているが、実際はバーチャルな形での運用となっており、それぞれの大学の全学技術センターが主体となって活動している。

構成員は約30名であり、組織図は以下の通りとなる。全学技術センター長と技術部長・技術支援室長（兼務）は教員が担っており、各支援室は技術職員である技術支援室長補佐がとりまとめている。業務内容は多くの職種があり、多岐にわたっている。従来の技術職員の業務は、応用生物科学部や工学部といった各部局との結び付きが強く、分野ごとの技術職員が独立して活動することが多かったため、組織化により各支援室を横断した形での技術交流が図れることとなり、業務の効率化および多様化が期待されている。

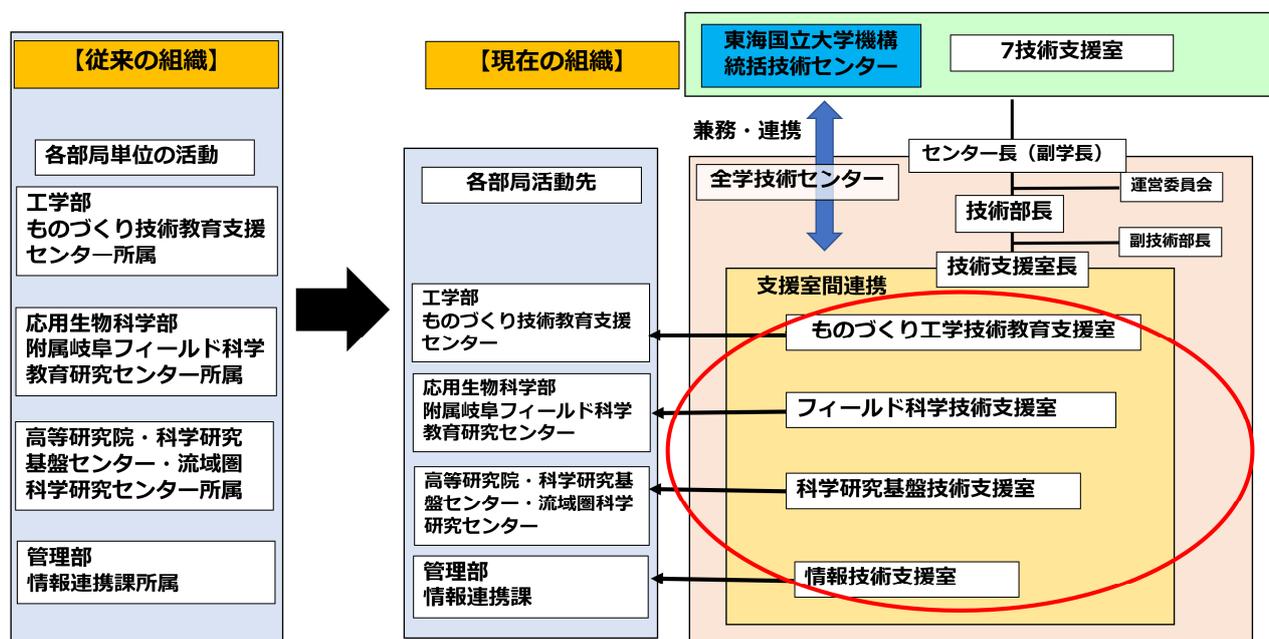


図1. 全学技術センターの組織図

## 2 ものづくり工学技術教育支援室の業務紹介

ものづくり工学技術教育支援室には10名の技術職員が所属しており、以下の3つの支援室で業務を行っている。

### ①ものづくり技術開発支援室（技術職員4名）

工学部の機械工場で業務を行っている。機械工場には様々な工作機械や工具があり、それらの管理運用を担っている。業務内容は実験実習の指導、工場利用者への講習、委託作業等の教育研究に関わる業務に従事している。

### ②情報技術開発支援室（技術職員3名）

工学部のホームページの管理・更新等の業務に従事している。

### ③環境・分析技術開発支援室（技術職員3名）

工学部の職場巡視や局所排気装置定期自主検査やVベルトの点検等および安全の手引の編集等、職場の安全衛生環境の維持業務に従事している。



図2.業務風景（局所排気装置定期自主検査、NC旋盤による加工、実験系廃棄物等の回収指導）

## 3 フィールド科学技術支援室の業務紹介

フィールド科学技術支援室には10名の技術職員が所属しており、以下の3つの施設で業務を行っている。

### ①柳戸農場（技術職員6名）

岐阜大学のメインキャンパス内にある柳戸農場において、農作物生産分野（水稻部門、蔬菜部門、果樹部門）と家畜管理分野（養鶏部門・酪農部門）で農畜産物の生産、実習教育、研究支援に従事している。

### ②美濃加茂農場（技術職員2名）

美濃加茂市にある農場で、飛騨牛の仔牛を生産する繁殖牧場として肉牛の飼育・生産、実習教育、研究支援に従事している。

### ③位山演習林（技術職員2名）

下呂市にある位山演習林で、森林の維持、実習教育、研究支援に従事している。



図3.業務風景（乳牛の管理、水田風景、実習風景）

## 4 科学研究基盤技術支援室の業務紹介

科学研究技術支援室には6名の技術職員が所属しており、以下の4分野で業務を行っている。

### ①動物実験分野（技術職員2名）

動物実験施設の管理・運営、飼育室環境の維持・管理、施設両者への案内や指導、発生工学等の研究支援に従事している。

### ②RI分野（技術職員1名）

非密封RI施設の管理・運営、各種放射線測定器の維持・管理、施設利用者への案内や指導、共同利用研究や受託試験の測定支援に従事している

### ③機器分析分野（技術職員2名）

各種分析装置の管理・運営、装置利用者講習会の開催、装置の操作方法指導、学内外依頼測定、分析結果の解析に従事している。

### ④高山試験地（技術職員1名）

気象データや各種サンプルの採集支援・提供、研究サイト（観測タワー・小屋）の維持・管理、利用者の安全確保業務等に従事している。



図4.業務風景（電界放出型走査電子顕微鏡、胚操作、試験地整備）

## 5 情報技術支援室の業務紹介

情報技術支援室には4名の技術職員が所属しており、情報セキュリティに関わる施策や研修の検討および実施、キャンパス情報ネットワークの整備・管理、キャンパス機関情報システムの整備・管理業務に従事している。



図4.業務風景の一例

## 6 全学技術センターの課題

岐阜大学全学技術センターは、東海国立大学の設立に伴って選考して組織化されていた名古屋大学に追従する形で設置されたため、まだ不備な部分もあり、課題が多い。一例を以下に示す。

- ①技術職員のマネジメントを技術職員が行える制度は設置されているが、現在そのポストの技術職員は空位になっている。
- ②職員の待遇に関して、名古屋大学と比較した場合に差異がある。
- ③組織としてまだ成熟しておらず、各自が全学技術センターの構成員であるという意識が希薄であり、組織化によるメリットを技術職員が感じられていない。
- ④実際の業務に関しては、従来遂行していた作業からほとんど変化がない

これらの問題点はあるが、事務組織に比べてキャリアパスの整備が遅れていた技術職員にとっては今後の努力次第で昇進・昇格の道筋が明確になっている。技術職員全体でビジョンを共有し、組織の発展のため一丸となって活動していく体制が求められると考えている。